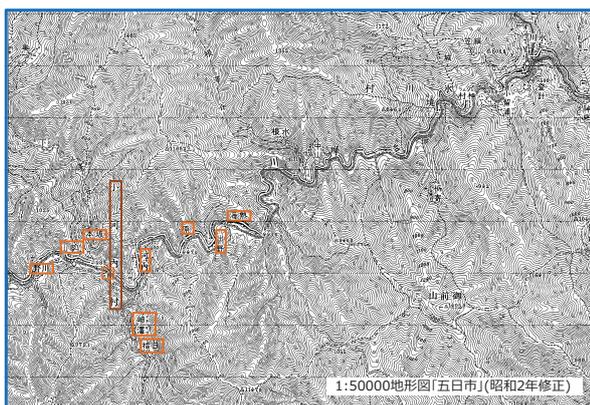


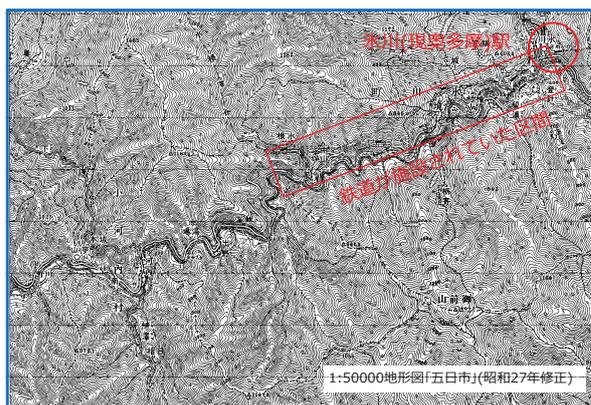
都民の水がめ建設

(小河内ダム(おごうちダム))

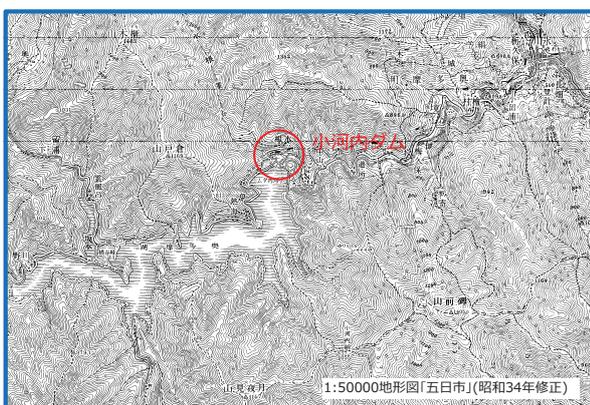
小河内ダムは、1938(昭和13)年11月、東京西部の多摩川をせき止め、都民の飲料水を確保する目的のため建設を開始し、第二次世界大戦中には一時中断をした後、1957(昭和32)年に竣工しました。現在でも水道専用の貯水池では、我が国最大級の貴重な水がめとして利用されています。



ダム建設によって水没した旧小河内村の集落が残っていました。(图中 で囲んであります)



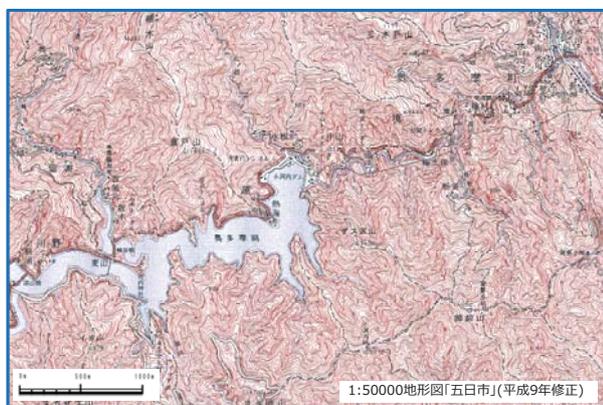
J R青梅線の「氷川(現奥多摩)駅」からダム工事用の鉄道が施設されていました。



ダムが竣工し、ダム湖(奥多摩湖)により水没した旧小河内村は、ダムの名称として残りました。



奥多摩有料道路(現奥多摩周遊道路)が開通しました。



ダム湖(奥多摩湖)周辺は、秩父多摩甲斐国立公園の一部として観光スポットとして人気があります。



提供(東京都水道局 水道歴史館)

ダム建設前の写真